

三重県政記者クラブ・田原市政記者
クラブ・鳥羽志摩記者クラブ同時発表

平成23年3月22日（火）
愛知県地域振興部交通対策課
エコモビリティライフ推進グループ
担当 柴山、梅田 内線 2384,2385
（ダイヤルイン）052-954-6125

第4回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要について

平成23年3月22日（火）午後1時30分から伊勢湾フェリー鳥羽ターミナルにおいて開催された第4回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要については、下記のとおりです。

記

1 日 時

平成23年3月22日（火）午後1時30分から午後3時まで

2 場 所

伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル2階多目的ホール

3 内 容

別添「結果概要」のとおり

第4回鳥羽伊良湖航路活性化協議会の結果概要

1 日 時

平成23年3月22日（火）午後1時30分から午後3時まで

2 場 所

伊勢湾フェリー鳥羽ターミナル2階多目的ホール

3 出席者

裏面「出席者名簿」のとおり

4 内 容

- 「鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画」（案）に対するパブリックコメントの回答について報告。（概要は別添1のとおり）
- パブリックコメントと各委員からの意見を踏まえた「鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画」を策定。（概要は別添2のとおり）
- 平成23年度予算案（予算額：30,559千円）を承認。

【23年度に実施する主な事業及び予算額】

| | |
|--|----------|
| ・潜在需要の開拓、旅行商品化事業 （国内旅行商品企画造成、地元団体と連携したインバウンドツアー誘致のはたらきかけ、新聞・旅行雑誌等によるPRなど） | 16,500千円 |
| ・航路情報の発信、誘導強化事業 （インターネット環境の整備、道路上の案内強化、写真コンテストの実施等） | 9,700千円 |
| ・航路の魅力・快適性向上事業 （オリジナルグッズの作成・配布、愛称・キャラクター募集等） | 1,250千円 |
| ・地域間交流促進事業 （遠足、体験学習、団体旅行への働きかけ等） | 500千円 |
| ・他交通機関との連携強化事業 （サイクル&シップライドの実施等） | 1,000千円 |
| ・各事業評価検証業務など | 1,609千円 |
| 合 計 | 30,559千円 |

第4回鳥羽伊良湖航路活性化協議会出席者名簿

| 団 体 名 | 職 名 | 氏 名 |
|--------------------|-----------------------|-------|
| 鳥羽市 | 副市長（協議会会長） | 木下 憲一 |
| | 観光課長 | 山下 正樹 |
| | 定期船課長 | 山本 芳照 |
| 田原市 | 産業振興部商工観光課長 | 伊藤 康弘 |
| | 市民環境部市民協働課長 代理 主査 | 藤井 透 |
| 伊勢湾フェリー(株) | 取締役社長 | 福武 章夫 |
| 中部運輸局 | 企画観光部交通企画課長 | 中野 晶子 |
| | 海事振興部旅客課長 | 高木 光輝 |
| 愛知県 | 地域振興部交通対策課長 | 松井 圭介 |
| 三重県 | 政策部交通政策室長 | 中西 清司 |
| | 農水商工部観光局観光交流室長 代理 副室長 | 岡田 鉄也 |
| 三菱UFJリサーチ&コンサルティング | 名古屋本部観光・交流政策グループ長 | 田中 三文 |
| 鳥羽市観光協会 | 会長 | 仲野 千里 |
| 田原市観光協会 | 理事 | 柴崎 剛 |
| 鳥羽商工会議所 | 専務理事 | 清水 清嗣 |
| 田原市商工会 | 参事（協議会監事） | 鈴木 武人 |
| 鳥羽市自治会連合会 | 会長 | 傍島 寛 |
| 田原市校区総代会 | 副会長 | 山本 達夫 |
| 全日本海員組合 | 名古屋支部長 | 森本 雷行 |

※欠席した委員：石垣武則愛知県産業労働部観光コンベンション課長、安島博幸立教大学観光学部教授、加藤博和名古屋大学大学院准教授、榊原宣克渥美商工会事務局長

連携計画（案）に対するパブリックコメントの回答について

平成23年2月21日（月）から3月7日（月）までの期間中、7名の方から、8件、23項目の意見をいただいた。それぞれの意見に対する事務局の回答は下表のとおり。

| NO. | 分類 | 意見 | 事務局の考え方 |
|-----|---------|---|--|
| 1 | 船旅の魅力向上 | <p>●乗客が楽しめる工夫をする</p> <p>乗っていてつまらないので、乗客に如何に楽しんでもらうかをよく考えるべき。例えば、以下のような改善をしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad でインターネットを利用できるようにする。 ・特別室はカウンターバーにする。 ・売店で名産品を売る（鳥羽側は赤福、伊良湖側は愛知県や名古屋の名物等） ・デッキへの案内を看板等で明記する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 頂戴しましたご意見は、本協議会から伊勢湾フェリー株式会社にお伝えし、鋭意検討を進めていただくこととします。 ・ フェリーに乗ること自体を「観光」と捉えられるよう、「船旅の魅力の向上」として計画に位置付け、事業を検討してまいります。 |
| 2 | 船旅の魅力向上 | <p>●船に乗ることに付加価値をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路と価格競争するのではなく、観光航路に特化して差別化していく。フェリーに乗ること自体を「観光」と捉えられるようにし、付加価値込みでは割高感のないようにする。 ・ 船上でしか見られない30分程度の名物ショーを企画する。 | |
| 3 | 船旅の魅力向上 | <p>●ペットを連れて乗客への対応を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥羽、伊勢志摩周辺は、ペット同伴可能なホテル・旅館が多く、ペット連れで旅行するエリアとして人気が高いが、公共交通機関では対応が不十分。 ・ フェリー内の有料個室をペット同伴可能とすることや、ペットをゲージ外に出すことができる乗船方法などの対応を検討して欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、船内に個室がないため、対応が難しいところですが、ゲージに入れた状態であれば、乗船可能として対応しています。 ・ ご意見を参考に、ペットが乗船可能であることについて、ホームページ等で広報していきます。 |
| 4 | 旅行企画 | <p>●国道42号沿線で連携した神社仏閣、グルメ等の旅行プラン作成、イベント実施</p> <p>鳥羽と東三河地域の交流促進以外に、浜松や熊野、和歌山も視野に入れ、国道42号沿線の交流促進の提携を図ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊川稲荷、伊良湖神社、伊勢神宮、伊雑宮、瀧原宮、花の窟神社、世界遺産の熊野三山などの神社仏閣の旅行プランの作成 ・ 浜松餃子、豊川いなり寿司、とばーがー、めはり寿司、さんま寿司、なれ寿司などのB級グルメフェアを和歌山、熊野、尾鷲、伊勢、鳥羽、田原、豊橋、豊川、浜松等それぞれの地域でイベント開催 ・ ふぐ、うなぎ、すっぽん、松阪牛、あわび、からすみ、くじら、クエなどのA級グルメフェアの開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 神社仏閣やグルメをテーマとした旅行プラン作成については、「旅行商品の企画造成」として計画に位置づけ、事業を検討してまいります。 |

| NO. | 分類 | 意見 | 事務局の考え方 |
|-----|------|---|---|
| 5 | 旅行企画 | <p>●伊勢神宮や松阪、浜松と連携した企画作成</p> <p>伊勢湾フェリーの利点は、自家用車と一緒に移動できることである。企画きっぷの設定範囲が、鳥羽・志摩周辺に限定されているため、伊勢神宮や松阪周辺、浜松まで企画エリアを広げても良いのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢方面であれば、おかげ横丁の赤福、二見のシーパラダイス、松阪牛のランチ（牛銀や三松など）などの優待をセットにしても良いのでは。 伊良湖であれば、渥美半島のメロン狩り、イチゴ狩りはもちろんのこと、浜松エリアまで販促エリアを広げてはいかがでしょうか。うなぎや餃子、舘山寺など、自家用車であれば行動可能なエリアである。 | <ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、今後、旅行商品を造成する上で、グルメや伊勢神宮との連携は重要な要素になると考えています。ご意見は旅行商品造成時の参考とさせていただくとともに、本協議会から伊勢湾フェリー株式会社にお伝えし、鋭意検討を進めていただくこととします。 |
| 6 | 旅行企画 | <p>●高速道路と併用した伊勢湾周遊コース等の旅行商品の売り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 自家用車での旅行商品が多く出回っています。名古屋、浜松、静岡や京都、奈良地域の旅行会社へモデル周遊コースを売り込む。 伊勢湾フェリーを利用することで、伊勢湾周遊ルートが出来上がります。往復利用にこだわらず、片道利用での集客も十分効果がある。 こうした販促商品の開発や周遊コースの売り込みは、行政では管轄があるので、伊勢湾フェリーの運行会社がもっと汗をかいてもよい。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後、本計画に基づき、伊勢湾フェリーと鳥羽・田原両市が連携した上で旅行商品を企画、販売し、潜在需要を掘り起こしつつ、伊勢湾フェリーで両地域を訪れる旅の「定番化」をめざしていきます。 |
| 7 | 旅行企画 | <p>●フェリー上での花火鑑賞の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏の篠島や日間賀島、豊橋、蒲郡の花火の海上鑑賞をフェリー船でできないか。 | <ul style="list-style-type: none"> 蒲郡の花火大会については、すでにフェリー貸切船による遊覧ツアーが実施されているところです。他の花火大会についても、実施可能かどうか鋭意検討を進めていただくこととします。 |
| 8 | 旅行企画 | <p>●利用が少ない時期の割引等により、様々な属性の観光客を取り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人旅行、団体旅行をバランスよく取り込み、年間・週間を通じてなるべく安定した利用客の確保を目指す。 観光利用が少ない時期に、可能な範囲で割引などを実施して利用者を広げる。 個人旅行としては、地元（東海4県くらい）の若い家族にターゲットを絞り、日帰り、または1泊の手軽な旅行に組み込んでもらうように宣伝する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本協議会においては、田原市と鳥羽市の特産品をプレゼントする「利用感謝ウィーク」の設定等により、利用が少ない時期の顧客確保を検討しています。 |

| NO. | 分類 | 意見 | 事務局の考え方 |
|-----|-------|--|--|
| 9 | 地域間交流 | <p>●学校への売り込み等を通じて、社会見学や遠足の利用を確保する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学や遠足で利用できる団体プランを小中学校へ売り込むことで、まとまった団体客を確保する取組を行う。 ・教育委員会などと連携して、各学校に対して売り込みを行うとともに、どういった内容であれば社会見学や遠足として取り入れられるかのアンケート（ヒアリング）を学校に対して行い、使いやすい形にブラッシュアップしていく。（例として、環境問題とからめたエコな移動手段としてのフェリー紹介、ふだん見ることのできない船の仕組み（機械室とか）の解説付きツアーなど） | <ul style="list-style-type: none"> ・学校への働きかけについては、すでに伊勢湾フェリー株式会社が営業を開始しており、本協議会としても「地域間交流の促進」として計画に位置づけ、事業継続を支援していくことを検討してまいります。 ・また、今年度より、鳥羽市と田原市が連携して、フェリーを活用した社会見学を実施しているところであり、今後も引き続き実施していく予定です。 |
| 10 | 情報発信 | <p>●ホームページでの情報発信強化、利用者の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市、田原市のHPの無料バナー広告 ・鳥羽市、田原市のHPの市役所のアクセスのページにフェリー等の海上交通掲載 ・伊良湖旅客ターミナルの改修・修繕 ・伊良湖旅客ターミナルのHPの全面改修と伊勢湾フェリーのHPとの連携 ・伊勢湾フェリー、名鉄海上観光船、神島観光船、鳥羽市営定期船のそれぞれのHP等を含む連携強化 ・アトで活性化をしている佐久島の連携として名鉄海上観光船の佐久島経由の航路開設 ・物流業者への個別企業との提携割引等の助成 ・早朝便・夜間便の航路開設による利用者の利便性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信については、本計画の中でも、「インターネット環境の整備」として、計画に位置づけ、事業を検討してまいります。ご意見は、事業の実施を検討する際の参考にさせていただきます。 ・新規路線の開設や早朝便・夜間便の開設については、かかる費用の大きさから、本協議会の計画として支援することは難しいと判断しています。 |
| 11 | 情報発信 | <p>●愛称やキャラクター等、他機関との相互割引によるPRに力を入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路自体の認知度が低いので、広告・宣伝には集中してお金をかけ大々的に行う。できれば、株主や地元企業と連携して、相互割引プランの提供や宣伝をする。 ・船や航路に愛称をつけ、オリジナルキャラクターを作成（募集）する。 ・船のペインティング（ラッピング）で広告宣伝していく。広告料としてペイント費用を企業などに出してもらえば費用も抑えられる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種PRや愛称、キャラクター募集については、「各種広報媒体による情報発信」として計画に位置づけ、事業を検討してまいります。ご意見は、事業の実施を検討する際の参考にさせていただきます。 |

| NO. | 分類 | 意見 | 事務局の考え方 |
|-----|------------|--|--|
| 12 | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ●伊良湖の目的地としての魅力向上 ・フラワーパーク跡地に現代美術による新しい価値の創造 ・瀬戸内国際芸術祭のような海上交通を活かした魅力づくりのため、篠島、日間賀島、佐久島、神島、答志島などとの連携 ・監的哨などの戦争遺跡としての近代遺産 ・三重県まちかど博物館のようなおもてなしによる魅力アップ ・伊勢神宮とつながりのある伊良湖神社跡の整備 ・田原臨海部のトヨタ自動車や東京製鐵等の企業見学 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力向上については、観光担当課と調整し、様々な観光資源を旅行商品として取り込むことができるよう、検討してまいります。 |
| 13 | 船旅の魅力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●割高感を打ち消すサービスが必要 ・2階のデッキに、一般客室料金でも行けるようにしてほしい。 ・船内に子供が遊べるような玩具がもっと充実しているとよい。 ・「大人2人と車で8,000円」が安いと思えるようなプラスアルファが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・頂戴しましたご意見は、本協議会から伊勢湾フェリー株式会社にお伝えし、鋭意検討を進めていただくこととします。 |
| 14 | 旅行企画 | <ul style="list-style-type: none"> ●近隣地域の市民を対象とした旅行商品の企画を追加してほしい ・旅行商品の企画造成に、ウォーキングツアー、サイクルツアー、エコツアー等、近隣地域の市民を主たる対象とした旅行商品を企画することを追加してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅行プラン作成については、ご意見を参考に、「旅行商品の企画造成」の中で、事業を検討してまいります。 |
| 15 | 旅行企画 | <ul style="list-style-type: none"> ●三河湾、伊勢湾沿岸観光資源とのタイアップ ・春や夏の休日等に、海上高速船を借り上げ、海の魅力や渥美半島の観光資源を活用したイベントなどで、海上交通アクセスの充実を図ることが必要。 ・交通事業者と地方自治体がタイアップした地域全体での観光レクリエーションへの取組が必要。 | |
| 16 | ターミナルの魅力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●ターミナルだけではなく、道の駅を含めた魅力の向上が必要 ・ターミナルだけの問題でなく、道の駅を含め、魅力の向上を図るべき。 ・灯台、万葉の歌碑、内海と太平洋の織りなす渥美半島の景観、宮山原始林、鷹の渡り、スナメリ、ウミガメなど、豊富な観光資源を展示する。 ・船や野鳥観察ができる展望室の整備、伊良湖港の魚介類の直売、渥美半島の農産物の直売など。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本計画では伊勢湾フェリーに関する施策を検討しているため、道の駅や個々の観光施設の充実は、地域課題として両地域において検討を進めることとします。 |
| 17 | 地域間交流 | <ul style="list-style-type: none"> ●学校教育や生涯教育をテーマに市町等が主体となるツアーを企画・助成する ・エコツアーなど学習効果が高いものを、学校教育や生涯学習に取り込み、東三河地域や三遠南信などの各市町、広域協議会、NPOが主体となるツアーを企画実施、助成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、鳥羽市と田原市が連携して、社会見学や遠足の売り込みを実施しているところであり、今後も引き続き実施していく予定です。 |

| NO. | 分類 | 意見 | 事務局の考え方 |
|-----|-----------|--|---|
| 18 | 他交通機関との連携 | <p>●自転車に着目した計画を促進すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車に着目した計画は、車と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」にもつながり、促進すべき。複数のステーションで乗り捨て可能なレンタサイクルシステムが効果的である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、自転車利用のニーズが高いことから、「他交通機関との連携強化」として計画に位置づけ、自転車をテーマにした利用者増加策を進めていく予定です。 |
| 19 | 他交通機関との連携 | <p>●鉄道、バス、フェリーが連携した地域公共交通ネットワークを形成すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス、フェリーが連携した総合交通計画を立案し、地域公共交通ネットワークを形成することは、市民生活の利便性向上でも重要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バス、フェリーについては、鳥羽市・田原市の地域公共交通会議等も連携しながら、幅広く検討してまいります。 |
| 20 | 他交通機関との連携 | <p>●バスだけでなく、鳥羽市営定期船、名鉄海上観光船との連携すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスだけでなく、鳥羽市営定期船、名鉄海上観光船とのダイヤの連携や共同割引周遊券の設定により利便性を向上させる。 ・名鉄フェリーと、船舶を融通することで、運航コストの削減が期待できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄フェリーとセットで乗られる方には、乗船券を割引料金で販売しています。 ・伊勢志摩の交通機関や観光施設を利用できる「まわりゃんせ」などの割引きっぷをご活用いただくと、各種交通機関が割引料金でご利用できるようになっています。 |
| 21 | その他 | <p>●割引キャンペーン等の料金割引をしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人2人と車で8,000円は、少し割高に感じた。 ・家族で乗って5,000円、もしくは宿泊料金とセットで割引だと使いやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フェリーに乗ること自体を「観光」と捉えられるよう、「船旅の魅力の向上」として計画に位置付け、事業を検討してまいります。 |
| 22 | その他 | <p>●遠方と近隣地域の利用実態の差をふまえた計画とすべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別、季節別、平休日別に、遠方からと近傍地域からの利用実態を分析したうえで、提案してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・連携計画には、重要な調査結果について、抜粋して掲載いたしました。ご指摘の項目そのままではありませんが、各調査の結果を整理した資料をホームページにおいても公開しておりますのでご確認いただきますようお願いいたします。 |
| 23 | その他 | <p>●航路廃止問題が浮上後、乗客が増えた要因を分析すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年の航路廃止問題が浮上したのちの利用実態の動向を詳しく分析して、旅客数の増えた要因を分析してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・当時利用されたお客様への調査等も行えないため、定量的な分析は難しいところですが、廃止の話題がマスコミ等に取り上げられたことによる宣伝効果や、旅行会社各社が伊勢湾フェリーへの応援として銘打ったツアーを行ったことなどが要因ではないかと考えられます。 |

鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画（概要版）

1 策定の背景・目的

鳥羽伊良湖航路は、三重県鳥羽市の鳥羽港と愛知県田原市の伊良湖港を約 55 分で結ぶ航路であり、国道 42 号を結ぶ海の道として高い公益性を有するとともに、両地域間の物流・交流、渋滞や災害等が生じた際の緊急時代替輸送手段として、地域住民の生活にとって欠かせないものとなっている。また、本航路は愛知県東三河地域と三重県伊勢志摩地域の観光産業を支えており、地域活性化に必要不可欠な航路である。

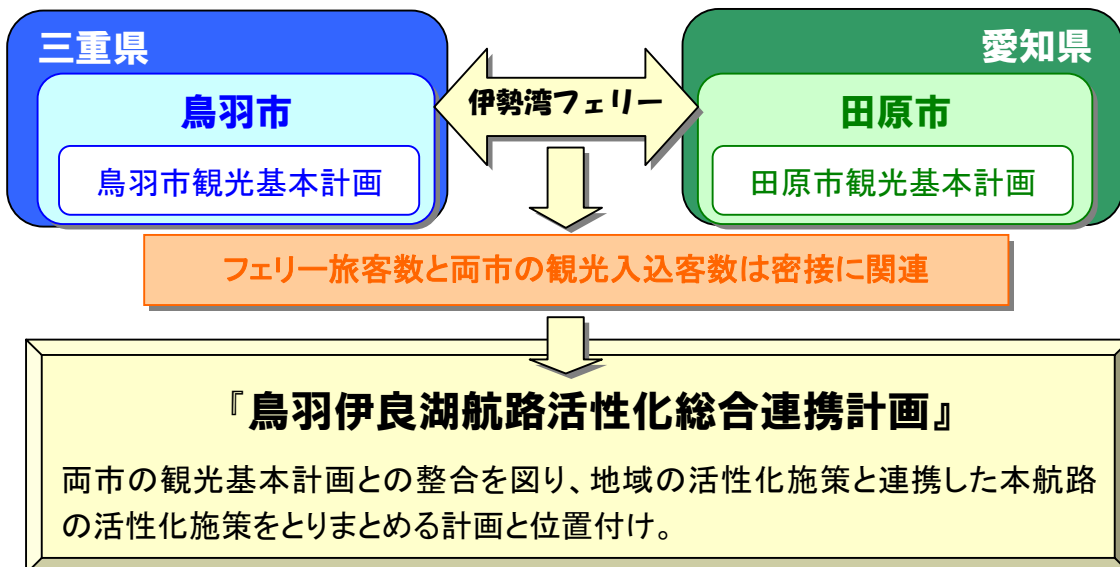


図 鳥羽伊良湖航路

本計画は、周辺の道路環境の変化や高速道路料金引き下げ等による交通機関間の競争条件が大幅に変更されていることに鑑み、新たな競争環境下での最新の利用ニーズを把握し、その結果に基づき、本航路の活性化を推進するために必要となる効果的かつ効率的な航路利用促進策を取りまとめるものである。

2 本計画の位置づけ

鳥羽市・田原市の両市では、平成 19 年～20 年にかけて、「観光基本計画」を策定していることから、「鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画」は、三重県や愛知県、その他周辺市との広域的な連携を取りながら、両市の観光基本計画との整合を図り、地域の活性化施策と連携した本航路の活性化施策をとりまとめる計画と位置づける。



3 鳥羽伊良湖航路の解決すべき課題及び施策の方向性

本航路の活性化施策立案を目的に、本航路の利用に関わる実態や意向を把握するための調査を実施し得た結果から、鳥羽伊良湖航路の解決すべき課題の抽出及び施策立案の方向性を取りまとめた。

| 本年度(H22年度)に実施した調査 | 利用実態調査 | 利用意向調査 | 課題 | 施策立案の方向性 |
|---|--|--|---|--|
| <p>① 旅客及び貨物の利用実態に関する調査</p> <p>調査の目的: 下記②～⑥の各調査を進めるうえで必要となる航路利用者についての基礎データ(航路利用者の属性、曜日別、起終点や交通手段等)を収集・分析</p> <p>調査手法: 利用者アンケート調査、航路利用実績調査等による分析</p> | <p>航路利用者は減少中</p> <p>航路利用者は1月・8月がピーク</p> <p>利用は土日休日が平日に比べ多い</p> <p>鳥羽・浜松間の移動時間は伊勢湾フェリーと高速道路利用で同程度</p> <p>高速割引により、鳥羽・浜松間移動時の料金差は1.5～2倍</p> | <p>乗船前後の利用交通手段は自家用車のみが大部分を占める (利)</p> <p>利用の主目的は観光 (利)</p> <p>利用者の多くは50代以上 (利)旅</p> <p>食や歴史・文化・パワースポットの旅行にニーズあり (利)W</p> <p>フェリー利用者の旅行ルートは伊勢湾・三河湾周遊型(片道乗船) (利)</p> <p>伊勢神宮への旅行者が多い (利)旅</p> <p>日帰り・1泊2日での旅行ニーズが高い (W)</p> <p>関東、関西、北陸地域でパッケージツアーの旅行ニーズあり (W)</p> <p>関東・関西方面から公共交通を利用した旅行ニーズあり (W)</p> <p>近隣地域・北陸地域では、高速料金とセットの割引の旅行ニーズあり (W)</p> <p>関東～和歌山・関西、周辺地域周遊にニーズあり (利)W</p> <p>インバウンド観光は3泊4日程度の行程、日本らしい食・観光地が人気 (旅)</p> <p>インバウンド観光は、「個人での旅行」や、「じっくり観光したい」というニーズが増加傾向 (旅)</p> <p>訪日外国人観光客は増加傾向 (旅)</p> | <p>関東・北陸・関西からの利用は見られるものの、周辺地域住民(三重、愛知、静岡)の利用が大部分を占めている</p> <p>ニーズにあった旅行ルートの提供や旅行パッケージがあれば、伊勢湾フェリーの利用可能性向上が期待できる</p> <p>三重県・愛知県の観光イメージである、食・歴史・文化等を活用したルートや情報提供が必要</p> <p>インバウンドでは、旅行者・旅行者に対して、いかに情報を提供できるかが重要</p> | <p>観光ニーズを踏まえた周辺エリア、広域エリアの観光ルートの立案(国内、国外)</p> <p>利用母数の多い旅行者の安定した大口顧客の確保</p> |
| <p>② 潜在需要の開拓と旅行商品化に関する調査</p> <p>調査の目的: 航路未利用者の潜在需要を調査・分析し、観光振興にかかる他の事業との連携を十分に図りながら、地域の魅力を伝え、航路活性化につながる旅行商品化に必要な利用実態・意向等を把握</p> <p>調査手法: ウェブアンケート調査、旅行者へのヒアリング等による分析</p> | <p>看板等の案内・誘導設備が少ない</p> <p>体験レポートやキャンペーンのPR等が十分でない</p> <p>主な認知手段となる広報媒体はインターネット、旅行情報誌である</p> <p>セールスポイントは「イルカ」「快適さ」</p> | <p>近隣地域以外での認知度は低い (W)</p> <p>船内・乗り場での観光案内の充実を要望 (利)旅</p> <p>「早く着く」、「渋滞が無い」、「眺めがよい」が利用理由 (利)W</p> <p>欠航が心配(実態は欠航率は1%程度) (W)旅</p> <p>近隣地域以外では、伊勢湾フェリーの場所の認知度が低い (W)</p> | <p>各種情報媒体を活用した誘導・認知度の向上が必要</p> <p>本航路の利用を促すための鳥羽伊良湖航路周辺や三重・愛知の観光情報提供</p> <p>フェリーは欠航しやすいというイメージの払拭</p> <p>フェリーの旅を想起させる広報媒体の活用</p> <p>ホームページの充実及び検索されやすい工夫が必要</p> | <p>伊勢湾フェリーの効果的なPR</p> <p>自動車利用が多いことを踏まえ、誘導看板を効果的に設置</p> <p>フェリーの利点を明記した広報の実施</p> |
| <p>③ 航路情報の発信及び誘導強化に関する調査</p> <p>調査の目的: 航路の認知度向上、誘導強化を図るために有効な情報発信方策と案内方策に必要な利用実態・意向等を把握</p> <p>調査手法: ウェブアンケート調査、現地調査、事例調査等による分析</p> | <p>バリアフリー対応が不十分</p> <p>クリスマス等のイベント時期にイルミネーションやライトアップを実施している事例がある</p> <p>洋上コンサートは、来年も参加したいというニーズが大部分を占める</p> | <p>フェリーの付加価値が必要 (旅)</p> <p>船内アメニティ向上への要望 (利)</p> | <p>誰にでも使いやすい船内設備の利便性強化</p> <p>思い出に残るフェリーの利用のされ方が重要</p> | <p>利用者に不便を感じさせない対応</p> |
| <p>④ 航路の快適性向上に関する調査</p> <p>調査の目的: 利用者の利便性と航路の魅力向上に資するため、施設・船舶の基盤整備や船旅の効果的な演出のあり方検討に必要な利用実態・意向等を把握</p> <p>調査手法: ウェブアンケート調査、現地調査、事例調査、本年度、田原市が実施している洋上コンサートなどの既存アンケート調査等による分析</p> | <p>鳥羽市民限定割引では、田原市へメロン狩り目的で利用する割合が高く、静岡方面まで向かう利用客も見られる</p> <p>鳥羽市・田原市とのバレーボールスポーツ少年団による交流が始まるとともに、東三河地域の小中学校では、フェリーを利用した遠足等の動き</p> | <p>割引等の助成があれば伊勢湾フェリーの利用可能性が増加 (W)</p> <p>三重・愛知・静岡県のフェリー利用が多い (利)</p> | <p>利用頻度を上げてもらうための施策、割引等が必要</p> | <p>フェリーに乗ることも目的のひとつとなり得るための取組みを実施</p> |
| <p>⑤ 地域間交流の促進策に関する調査</p> <p>調査の目的: 東三河地域と伊勢志摩地域間の交流を促す航路運航のあり方検討に必要な利用実態・意向等を把握</p> <p>調査手法: 本年度鳥羽市が実施している航路利用促進事業アンケート調査、事例調査等による分析</p> | <p>サイクルシップ事業時期中には自転車利用客が増加し、利用ニーズも高い</p> <p>他公共交通との連携(乗り継ぎ)は十分でない</p> | | <p>利用者の特性(目的、時期、年齢層)に合わせた優遇、利用促進策が必要</p> <p>フェリーの利用時間他の交通手段との連携(待ち時間の有効活用等)</p> | <p>利用促進可能性の高い事業の有効活用</p> |
| <p>⑥ 他交通機関等との連携強化に関する調査</p> <p>調査の目的: 本航路と公共交通等の乗り継ぎにおける利便性、快適性の向上方策に必要な利用実態・意向を把握</p> <p>調査手法: 現地調査、事例調査、本年度田原市が実施しているサイクルシップ事業に関するアンケート調査等による分析</p> | | | | |

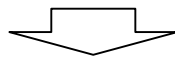
(利) : 利用者アンケート調査結果 (W) : ウェブアンケート結果 (旅) : 旅行者ヒアリング結果

4 鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画の基本方針

本航路の位置づけから、両市の観光課題、本航路の課題の中でその共通項を踏まえた上で、本航路の活性化施策立案の方向性を示し、以下の基本方針をとりまとめた。

本航路の活性化施策立案の方向性

- 観光ニーズを踏まえた周辺エリア、広域エリアの観光ルートの立案(国内・海外)
- 利用母数の多い旅行業者の安定した大口顧客の確保
- 旅行者の情報入手特性を踏まえてターゲットを絞った効果的なPRの実施
- 自動車利用者に対しての道路空間で行うPRの実施
- フェリーの利点を明記したPRの実施
- 利用者に不便を感じさせない対応
- フェリーに乗ることが目的のひとつとなり得るための魅力向上施策の実施
- 両地域の住民・利用客を巻き込んだ利用促進、愛着増進イベントの実施
- 両地域の利用促進可能性の高い事業や広報PRツールの有効活用



鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画の基本方針

- ① 主たる利用目的である「観光利用」において、現存する観光資源やその組み合わせを見つめ直し、新たな価値を生み出すために必要となる旅行商品の企画造成や効果的な情報発信を図る。
- ② 本航路が利用者に認知され、愛され、繰り返し利用していただけるよう、施設や船舶の快適性及び付加価値の向上、航路への誘導強化を図る。
- ③ 東三河と伊勢志摩地域の交流への活用、及び他交通機関と連携した情報提供を図る。

5 鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画の区域

鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画の区域として以下を設定した。

○愛知県田原市と三重県鳥羽市を中心とした広域

6 鳥羽伊良湖航路活性化総合連携計画の目標

航路を維持するために必要な目標値として以下を設定した。

○総旅客人員 年間 35 万人(平成 21 年度実績)の維持

7 目標を達成するために行う事業及びその実施主体

目標を達成するために行う事業について、基本方針から必要な施策を検討し、以下の5つの事業、9つの施策を設定した。

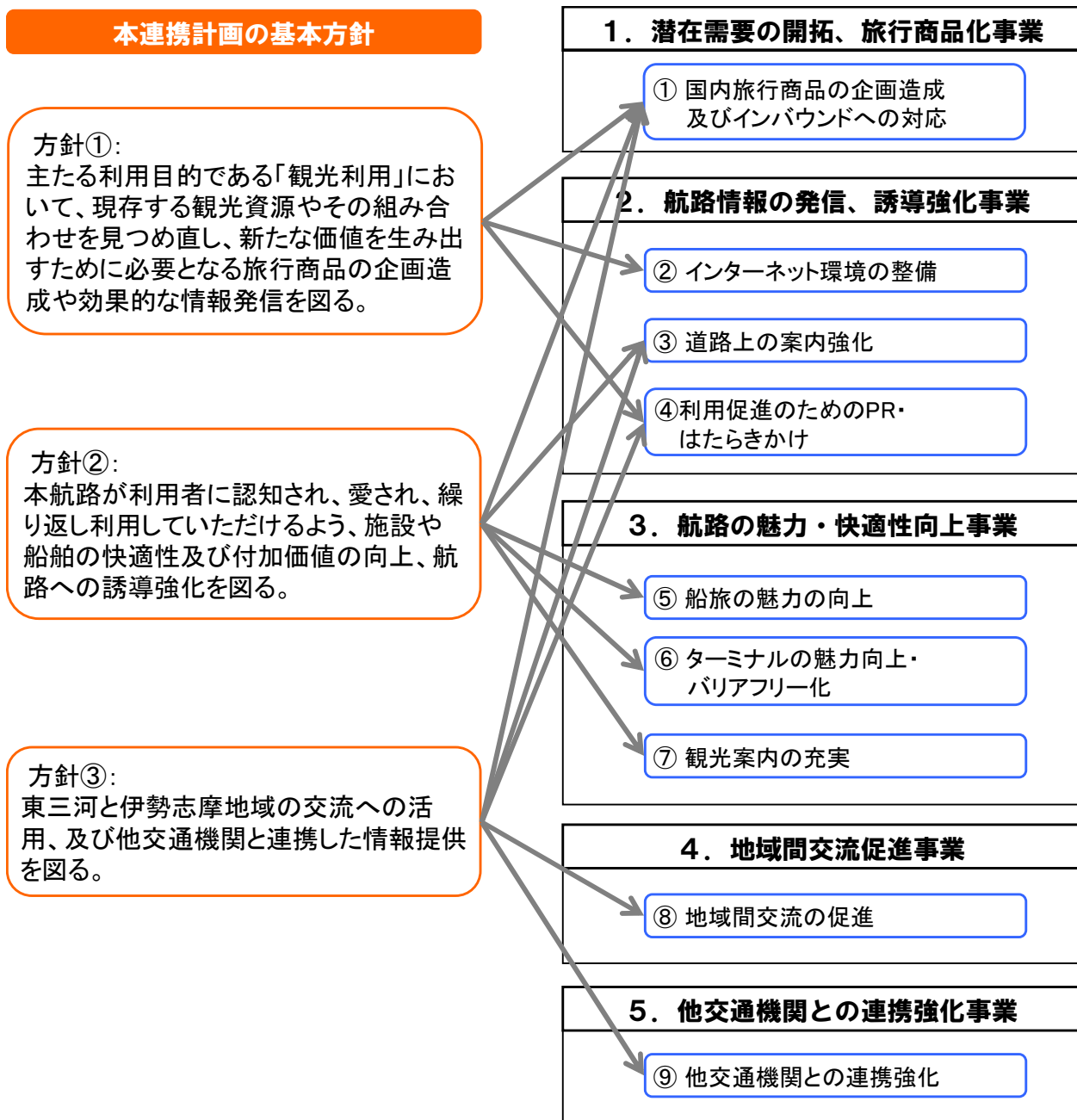


表 施策、施策内容、実施主体一覧

| 施策 | 施策内容 | 実施主体 |
|-----------------------------------|---|---|
| 1.潜在需要の開拓、旅行商品化事業 | | |
| ① 国内旅行商品の企画 造成及びインバウンド への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国内旅行者をターゲットにした旅行商品の企画造成 ○ インバウンドツアー誘致のはたらきかけ ○ 旅行商品・両地域の観光PR | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 ・伊勢湾フェリー(株) |
| 2.航路情報の発信、誘導強化事業 | | |
| ② インターネット環境 の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ バナー広告の掲載、SEO対策 ○ 観光施設・宿泊施設ホームページへのリンク依頼 ○ ホームページの全面改修 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 ・伊勢湾フェリー(株) |
| ③ 道路上の案内強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高速道路SAへのリーフレット設置 ○ のりばへの誘導強化 ○ 航路運航情報表示システムの設置 ○ 道路標識への掲載要望活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 |
| ④ 利用促進のための PR・はたらきかけ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真コンテストの実施 ○ スタンプカードの対象拡充 ○ カーナビソフト会社へのはたらきかけ ○ その他PR及びはたらきかけの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 ・伊勢湾フェリー(株) |
| 3.航路の魅力・快適性向上事業 | | |
| ⑤ 船旅の魅力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 団体客ブリッジ見学 ○ 利用感謝ウィークの実施 ○ オリジナルグッズの提供、イルカの活用 ○ 船内アクティビティの企画、実施 ○ 洋上コンサートの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 ・伊勢湾フェリー(株) |
| ⑥ ターミナルの魅力向 上・バリアフリー化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ エレベーターホール改修 ○ 床面点字パネル設置 ○ 売店取扱商品の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢湾フェリー(株) |
| ⑦ 観光案内の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光案内DVD放映 ○ 観光パンフレットの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 ・伊勢湾フェリー(株) |
| 4.地域間交流促進事業 | | |
| ⑧ 地域間交流の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 遠足、体験学習、団体旅行への働きかけ ○ 県民ウィークの実施 ○ その他、地域団体等との交流・連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 |
| 5.他交通機関との連携強化事業 | | |
| ⑨ 他交通機関との 連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ サイクル&シップライドの実施 ○ バス車内、フェリー船内、ターミナルにおけるアナウンスの実施 ○ 公共交通利用モデルルート作成 ○ 鳥羽伊良湖航路活性化協議会と鳥羽市、田原市両市の地域公共交通会議との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 |

8 計画期間






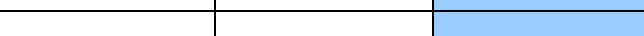





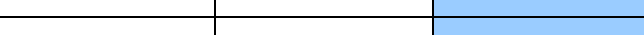

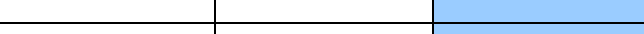

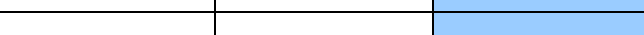

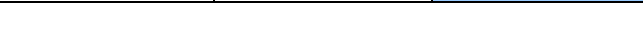
計画期間は、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間とする。

上記 3 年間の中では、PDCA サイクルにより、施策の実施・評価・改善・見直しを随時行い、平成 26 年度以降も、両地域が一体となって、本航路の利用促進につながる航路周辺や地域の魅力向上に努めていくこととする。

また、これら事業の結果や社会状況、周辺状況の変化等を踏まえ、適宜、本連携計画事業を見直していくこととする。

表 年次計画

実施・評価  協議・検討 

| 項目 | | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 (式年遷宮) |
|-----------------------|-------------------------|---|--|------------------|
| 1.潜在需要の開拓、 旅行商品化事業 | 国内旅行商品の企画造成及びインバウンドへの対応 |  |  | |
| | インターネット環境の整備 |  |  | |
| 2.航路情報の発信、 誘導強化事業 | 道路上の案内強化 |  |  | |
| | 利用促進のためのPR・はたらきかけ |  |  | |
| 3.航路の魅力・快適性向上事業 | 船旅の魅力向上 |  |  | |
| | ターミナルの魅力向上・バリアフリー化 |  |  | |
| | 観光案内の充実 |  |  | |
| 4.地域間交流促進事業 | 地域間交流の促進 |  |  | |
| 5.他交通機関との連携強化事業 | 他交通機関との連携強化 |  |  | |